



JASDAQ

平成 21 年 10 月 2 日

各 位

グラウンド・ファイナンシャル・アドバイザー株式会社
代表取締役 佐藤 明彦
(JASDAQ・コード番号：8783)
問い合わせ先 取締役 平野 公久
電話 03-5532-1031

21世紀アセットマネジメント株式会社の株式の取得（子会社化）及び 新規事業の開始に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、21世紀アセットマネジメント株式会社（以下「21世紀AM」という。）（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：清水 孝則）の株式を取得し、同社を子会社化すること、またそれに伴い、新規事業として「金融モール」を展開することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 新規事業の開始及び株式の取得の理由

当社は、会社設立以来「クライアントに対して最適な金融サービスを提供するプロフェッショナル・ファーム」となるべく、不動産の証券化に関するアレンジャー業務に特化し、高い水準での専門性を発揮したサービス提供を行って参りました。

一方、21世紀AMは、アセットマネジメント業務を主要業務として、グローバル・マクロ戦略に強みを持ち、公募投資信託のほか年金基金等の機関投資家向け私募投資信託と投資一任契約による運用を中心とする独立系の投信投資顧問会社であり、そのファンド運用資産残高は、約129億円（平成21年8月末日現在）です。

当社を取り巻く事業環境につきましては、米国のサブプライム・ローン問題に端を発する世界的な金融市場の混乱及び信用収縮等の影響による金融機関の融資姿勢の厳格化、国内不動産会社の相次ぐ経営破綻などにより、国内の不動産投資市場は収縮し、証券化手法によるファイナンス案件の組成需要は大きく停滞しております。このような厳しい事業環境を反映して、当社業績も低迷を余儀なくされており、また、金融機関の融資姿勢が積極的なものに転じ不動産市況が回復するまでには、相当の時間を要するものと見込まれることから、アレンジャー業務に付加し得る新たな収益事業の確立が経営課題として急務となっております。

当社としましては、当社における経営資源の制約と事業環境に鑑みた上、このような厳しい経営環境に対処するためには単発的に新規事業に着手するのではなく、当社が強みを持つ事業分野においてビジネスモデルそのものの根本的な転換を図り、既存事業もその中に位置づけて発展的な事業展開を図っていく必要があるものと判断するに至りました。

今後、当社が新たに掲げる経営ビジョンとは「金融モール」の展開であります。「金融モール」とは、金融に係る業務に携わる企業のうち、専門性・独自性を持ち、良質な金融商品・サービスを提供し得る個別企業（あるいは専門子会社）が持つ機能をモール内に集約し、一定の規模と能力を備えた企業グループを形成した上で、①顧客に対しては適切に選択された良質な金融商品・サービスを提供し、②個別企業においては相互の有機的機能補完をおこなうことで業務の効率化を図り、業容拡大を目指す金融ビジネスを展開するための新たなビジネスモデルであります。

「金融モール」に集約される機能としては、①金融商品の製造・組成機能、②金融商品に係る運用機能、③金融商品の販売機能、④助言機能（資金調達、M&A、事業拡張、事業再生等）があります。

今回、21世紀AMの株式を取得いたしますのは、独立系の投信投資顧問会社として運用能力に定評があり、機関投資家等とのパイプを有する同社を子会社化することで、「金融モール」における機能のうち、特に金融投資商品に係る製造・組成機能、運用機能、販売機能を取り込むことを目的としております。21世紀AMについては、株式取得して子会社化した後、当社より人材派遣等を行うことで販売機能に係る体制整備を図りこれを強化する方針であり、「金融モール」の展開において中核的な役割を

果たしていく予定であります。

今後の「金融モール」の展開につきましては、上記4つの機能を提供する企業で「金融モール」の構想に賛同するパートナー企業を募り順次提携関係を構築し、また、企業買収等の手段も活用しながら、その早期実現及び充実に邁進してまいる所存です。尚、当社の主力業務であります不動産証券化のレンジャー業務は、「金融モール」においては資金調達に関する助言機能として位置付け、引き続きその拡充に努めて参ります。

2. 異動の方法

21世紀AMの既存株主からの株式譲受及び第3者割当増資を当社が引き受けることにより同社株式27,000株（所有割合64.8%）を保有し子会社化いたします。

(1) 株式の取得

アセット・マネジャーズ・ホールディングス株式会社より株式4,800株（所有割合：23.2%）、及びアエルコーポレーション株式会社より株式1,200株（所有割合：5.8%）を取得
取得価額の総額 48百万円

(2) 21世紀AMの行う第3者割当増資の引受について

引受の内容
引受株式数 普通株式 21,000株（今回発行株式数 21,000株）
引受価額の総額 252百万円（1株につき12,000円）
払込期日 平成21年10月16日

3. 異動する子会社の概要

(1)	商号	21世紀アセットマネジメント株式会社		
(2)	本店所在地	東京都千代田区丸の内二丁目2番1号		
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 清水 孝則		
(4)	事業内容	投資信託委託業、投資顧問業		
(5)	資本金の額	1,063.3百万円		
(6)	設立年月日	平成17年2月21日		
(7)	大株主及び持ち株比率	ひまわりホールディングス株式会社（24.2%） アセット・マネジャーズ・ホールディングス株式会社（23.2%） 清水 孝則（11.6%） 日本アジア投資株式会社（5.8%） アエルコーポレーション株式会社（5.8%）		
(8)	当社と当該会社との間の関係	資本関係	当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。	
		人的関係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。	
		取引関係	当社と当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。	
(9)	最近事業年度における業績の動向	（単位：百万円）		
		平成19年3月期	平成20年3月期	平成21年3月期
	純資産	414	368	322
	総資産	438	402	341
	1株当たり純資産（円）	28,404.54	23,537.38	15,629.13
	売上高	100	334	125
	営業利益	△199	△95	△364
	経常利益	△213	△91	△370
	当期純利益	△213	△104	△320
	1株当たり当期純利益（円）	△14,647.32	△7,141.50	△17,123.96
	1株当たり配当金（円）	—円	—円	—円

4. ①株式取得の相手先の概要

(1)	商 号	アセット・マネジャーズ・ホールディングス株式会社	
(2)	本 店 所 在 地	東京都千代田区内幸町一丁目1番1号	
(3)	代表者の役職・氏名	代表執行役社長 岩崎 謙治	
(4)	事 業 内 容	不動産事業及び不動産関連アドバイザリー事業	
(5)	資 本 金 の 額	19,518百万円（平成21年5月31日現在）	
(6)	設 立 年 月 日	平成12年3月17日	
(7)	純 資 産（連 結）	15,335百万円（平成21年5月31日現在）	
(8)	総 資 産（連 結）	122,038百万円（平成21年5月31日現在）	
(9)	大株主及び持ち株比率 （平成21年2月28日現在）	いちごアセットトラスト（48.7%）	
(10)	当 社 と 当 該 会 社 と の 間 の 関 係	資本関係	当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。
		人的関係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。
		取引関係	当社と当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。
		関連当事者への 該当状況	当社と当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。

②株式取得の相手先の概要

(1)	商 号	アエルコーポレーション株式会社	
(2)	本 店 所 在 地	東京都中央区銀座二丁目7番17号	
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役 館崎 直史	
(4)	事 業 内 容	M&A、事業再生、投資支援、国際展開支援	
(5)	資 本 金 の 額	382百万円（平成19年12月現在）	
(6)	設 立 年 月 日	平成9年5月15日	
(7)	純 資 産	160百万円（平成21年4月現在）	
(8)	総 資 産	632百万円（平成21年4月現在）	
(9)	大株主及び持ち株比率 （平成21年4月末現在）	館崎直史(31.1%) カトーサービス株式会社(17.4%) マーチャント・バンカーズ株式会社(17.4%)	
(10)	当 社 と 当 該 会 社 と の 間 の 関 係	資本関係	当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。
		人的関係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。
		取引関係	当社と当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。
		関連当事者への 該当状況	当社と当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。

5. 取得株式数及び取得前後の所有株式の状況

(1)	異動前の所有株式数	0株 （所有割合 0%） （議決権の数 0個）
(2)	取得株式数	27,000株 （取得価額の総額 300百万円 内訳：第3者割当増資 252百万円 株式譲渡 48百万円） （議決権の数 27,000個）
(3)	異動後の所有株式数	27,000株 （所有割合 64.8%） （議決権の数 27,000個）

6. 新規事業の概要

1.	事業の名称	金融モール事業
2.	新たな事業の概要	子会社となる21世紀AMを中心として投資信託委託業、投資顧問業、金融商品取引業（第2種）を展開する予定。
3.	担当する部署	子会社となる21世紀AMが中心となって担当する予定。
4.	支出額	300百万円（21世紀AM株式取得に係るもの）

7. 日程

平成21年10月2日	当社取締役会決議（第3者割当増資引受及び株式譲渡契約締結）
平成21年10月5日	株券引渡期日（株式譲渡契約）
平成21年10月16日	払込期日（第3者割当増資引受）及び新規事業開始日

8. 今後の見通し

平成22年3月期の業績に与える影響につきましては、本日現在においては確定いたしておりませんが、確定次第速やかに発表させていただく予定でございます。また、今回の株式の取得により、21世紀AMは当社の連結子会社となり、平成22年3月期第3四半期より連結財務諸表を作成いたします。

（ご参考）

21世紀AMの子会社化に伴う取締役の変更は以下のとおり予定しております。

（平成21年10月13日付）

氏名	新役職名	旧役職名
佐藤 明彦	21世紀アセットマネジメント株式会社 取締役 グラント・ファイナンシャル・アドバイザー株式会社 代表取締役	グラント・ファイナンシャル・アドバイザー株式会社 代表取締役

以上